

長野県労働基準法

～SDGsによる長野県の未来への労働基準～

目次

- 1.SDGS目標⑧について
- 2.SDGS目標⑩について
- 3.長野県の労働に関する現状
 - 4.今後の課題
- 5.私が考える解決方法
- 6.まとめ



1.SDGS目標⑧について

8 働きがいも
経済成長も



⑧働きがいも経済成長も

“みんなの生活を良くする安定した経済成長を進め、だれもが人間らしく生産的な仕事ができる社会を作ろう”

8-2

商品やサービスの価値をより高める産業や、労働集約型の産業※を中心に、多様化、技術の向上、イノベーションを通じて、経済の生産性をあげる。

※労働集約型の産業とは、人の働きによる業務の割合が大きい産業のこと。たとえば、機械化されていない農業や、人がサービスを提供する仕事など。

8-5

2030年までに、若い人たちや障害がある人たち、男性も女性も、働きがいのある人間らしい仕事をできるようにする。そして、同じ仕事に対しては、同じだけの給料が支払われるようにする。

8-8

他の国に移住して働いている人、中でも女性、仕事を続けられるか不安定な状況で働いている人を含めた、すべての人の働く権利を守って、安全に安心して仕事ができる環境を進めていく。

2.SDGS目標⑩について



⑩人や国の不平等をなくそう

“世界中から不平等を減らそう”

10-2

2030年までに、年齢、性別、障がい、人種、民族、生まれ、宗教、経済状態などにかかわらず、**すべての人が、能力を高め、社会的、経済的、政治的に取り残されないように**すすめる。

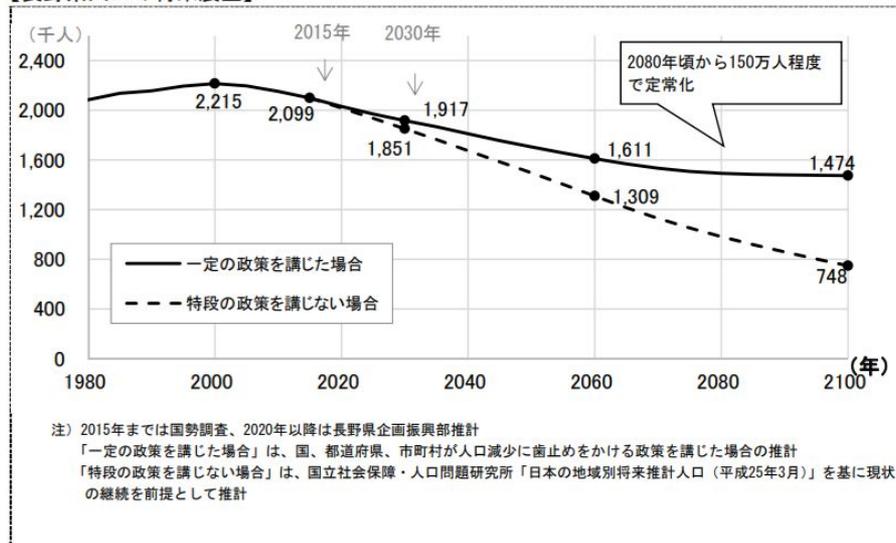
10-4

財政、賃金、社会保障などに関する政策をとることによって、だんだんと、より大きな平等を達成していく。

3.長野県の労働に関する現状

- ・長野県の労働者人口は少子高齢化社会とともに減少傾向にある
- ・長野県の労働者が減少し、東京などといった直ぐ側にある関東地方へ労働するという軽いストロー現象が起こっている

【長野県人口の将来展望】



長野県

<https://www.pref.nagano.lg.jp> > 05_chapter2

4. 今後の課題

- ①長野県で働きたいと思える環境を整える
- ②これから必要になっていく情報や工業などの会社を増やし、これからの労働者 人口を増やす
- ③真面目に働く人が利益収入をしっかりと
受け取れるようにする



5.私が考える解決方法

①長野県で働きたいと思える環境を整える

・簡単に付きたい仕事を探せるようなホームページを作成する

・会社の設備を整える

②これから必要になっていく情報や工業などの会社を増やし、これからの労働者人口を増やす

・情報などのIT企業は長野市や松本市などの経済の回っている地域に作り、工業などはその他の地域で開発を進める。

・諏訪でさかんなコンピューターの生産を増やし、IT企業で使用する

③真面目に働く人が利益収入をしっかりと受け取れるようにする

・男女の職場での格差をなくし、しっかり働いた人がそれだけの給料をもらえるようにする



6.まとめ

長野県の労働環境を整え、産業の近代化を進めていくこと。
労働者の人口を増やし、更に経済を回していければいいと思う

